

22日に「俚奏楽」演奏会

三味線の本條秀太郎



三味線演奏家の本條秀太郎＝写真＝が二十二日午後零時半と午後四時半の二回、東京・紀尾井小ホールで、日本音楽の新しい流れとして創作された俚奏楽ちんそうがくの演奏会を開く。

俚奏楽は一九七〇年ごろ創作が始まり、約二百曲が作られている。十一回目の今回は名作として名高い曲を選んだ。午後零時半の回は「雪の山中」、今年の東をどりで披露された「かき戻し」など。午後四時半の回は「越中おわら節」に着想した「雪おんな」など。いずれも「熊野恋慕抄」で締める。本條は「熊野」は琴、お囃子はやし、打楽器などの大編成で披露する」と話している。

傳燈楽舎＝☎03・33303・5

1880。

(真壁聖一)